

事業計画書

事業名	地域を繋ぎ、地域を活性化 本気で夢を実現する場コワーキングスペースiitoco!!の開設と新たな価値創造事
実施箇所	佐久市猿久保を予定
実施期間	事業開始予定年月日 平成28年4月1日
	事業終了予定年月日 平成29年3月31日
事業概要	<事業の目的> 計画書別紙①「事業の目的」参照
	<事業の内容> 計画書別紙②「事業の内容」参照
	<事業の効果・アピールポイント> 計画書別紙③「事業の効果・アピールポイント」参照
	<事業における市の役割分担> 広報や会員獲得、イベント周知など

計画書別紙① 事業の目的

◆背景

IT技術の向上等により、急激に社会環境が変化しており、その変化に対応していかなければ「地方消滅」という言葉があるように、今の生活を維持する事はおろか、衰退の一途をたどる可能性がある時代が到来している。

外部環境的な要素としては、①国が勧める地方創生、②グローバル化、③コンピュータの技術革新などが考えられる。また佐久市の内部環境的な要因としては、①人口減少問題、②少子高齢化問題、また③それによる遊休資産の問題などが考えられる。

時代の変化に対応し、地域を維持・発展させていくためには、イノベーションが必須であり、何が正しいのか自ら考え、自ら価値を生み出していく人材が必須である。そして、その人材の連携による課題解決、新たな価値創造が求められている。

◆課題

情熱や行動力があり、自らの意思により活動しているフリーランスなどが連携し協働する「場」、具体的にいえば、近年急速に広まりつつあるコワーキングスペースが佐久地域には存在しない。日本では2011年ころから急激に広がり始め、2014年時点では全国に約300か所のコワーキングが開設されている。（コワーキング協働組合調べ）長野県においても、佐久地域以外にはコワーキングスペースが開設されており、協働の場として新たな価値が生み出され始めている。佐久地域のみコワーキングスペースが存在しない事は、長野県内のコワーキングスペースの活動連携を考えても、損失と言わざるを得ない状態である。

◆必要性

長野市のコワーキングスペース「クリークス」(<http://www.creeks-coworking.com/>)では、クラウドファンディング事業を長野県から受託し創業や事業拡大の資金調達支援をしている。※長野県内の他地区のコワーキングスペースも窓口になっている。（事業名「SCooNe」<http://scoone.net/>）

上田市の「ハナラボウンノ」(<http://hanalab.co/unno>)では、女性の社会復帰支援の事業を行っている。子育て中の女性にとっての就業阻害要因である、働く時間・子どもの急な事情による欠勤・一定期間子育てに専念したことによる技術の陳腐化などの問題を解消すべく、仕事を女性のグループで請負い仕事を完成させるスタイルをとったり、資格の取得等をコワーキングスペース内で学び、女性の自立支援をしている。ハナラボは現在上田市に3つのコワーキングスペースを開設しており、女性支援をしているハナラボウンノは2つ目に開設されたものである。この女性支援事業も、コワーキングスペースの利用者（以下コワーカー）がコワーキングスペースに集まり、対話をする中で社会問題を解決すべく生まれた事業である。

そして、ほとんどのコワーキングスペースに共通して言えることは、学びに関する講座や、起業支援、懇親会などの交流会、コワーカー自ら講師を務めるイベントやコワーカーの作品展示会など、積極的に催しが開催され、コワーカーの学びの場・出会い交流の場・協働の場となっている。

また、長野県としてもコワーキングスペースの事業は積極的に支援しており、コワーキングスペースを活用した起業・創業支援、人材育成事業、創業・イノベーション事業などが連携して行われている。

(<http://www.pref.nagano.lg.jp/keieishien/sangyo/shokogyo/sogyo/coworking.html>)

以上の様に、時代の変化に対応し、地域を維持・発展させていくため、協働共創の場であるコワーキングスペースの可能性は非常に大きく、必要性が高いと思われる。

計画書別紙② 事業の内容

◆実施時期、場所、規模

開設時期は2016年6月を目標とし、場所は現在、佐久市猿久保26-1人材派遣会社の(株)クリエイティブ・コスモ所有の物件で最終調整中。規模としては、1、2階合わせて約60坪。駐車スペースは30台確保が可能。

※別紙「空間イメージ」「建物図面(簡易版)」を参照。

◆方法等

本事業期間での事業内容と翌年以降の発展的な事業内容で分けて記載する。

(本事業での具体的な事業内容)

本事業では、コワーキングスペースを開設し、コワーカーによる協働の場の提供や、ワークショップ等の学びや交流のためのイベントを開催していく。

ターゲットはフリーランス等で活動している者からはじまり、若者や女性など今後起業を予定している者や、現状事業規模とまでは行かないが趣味や副業として技術を持った者など、何かを生み出したり、生み出そうとしている幅広い層に対して事業を展開する。

事業内容(提供サービス)

- ①ワークスペースの提供(オフィス、工房、サロンなど)
- ②オフィス設備の共有
- ③各種講座・イベントの提供
- ④本や経営ノウハウの共有
- ⑤マッチングサービス
- ⑥その他付帯サービス

以下に詳細を記述する。

①ワークスペースの提供

フリーランスは自宅兼事務所で仕事をするケースが多い。事務所を借りるとコスト的に負担が高くなってしまうためである。そのため、自宅の一角に事務所または作業場を設けることになるのだが、仕事とプライベートを分けにくかったり、1人で作業をするため孤独を感じる人が多い。

また、職人や施術をするフリーランスも同じ問題を抱える。例えば革職人であればミシン等の工具をそろえる必要があったりと初期投資が高額になる。そのため、技術は持っているが積極的に事業を展開できていないと言うケースも存在する。業務用ミシンと作業スペースを共有できれば、革製品・布製品の製作業務を初期コストなしで行うことができるし、通常は交わることのない専門外の職人やフリーランスと交流が図れるため新たな商品開発にも繋がる。(現在のところ、革靴職人、革細工職人、2名から要望が挙がっている。)

以上の様な問題を解決するために、共有のワークスペースを提供する。
様々な専門性を持った者同士が集まり、仕事をしながら会話をする事で新たな発想や事業が生まれる可能性も高まる。

(現段階で考えている料金、収容可能人数等)

収入は、入会時の入会金と月額利用料に分かれる。

入会金は、本事業の設備投資回収的な側面を担い、月額利用料は本事業が立ち上がった後の運営収入的な側面を担う。

収入の種類としては以下の様になる。

- ・フリースペース会員 (フリースペース/集中エリア利用可)
⇒入会金 5,000 円/月額利用料 10,000 円/定員 30 名
- ・法人会員 (法人として 4 名までフリースペース/集中エリア利用可)
⇒入会金 15,000 円/月額利用料 30,000 円/定員 2 社
- ・個ブース会員 (専用のワークスペース/フリースペース/集中エリア利用可)
⇒入会金 15,000 円/月額利用料 30,000 円/定員 5 名 (社)
- ・シェア工房会員 (シェア工房/フリースペース/集中エリア利用可)
⇒入会金 6,000 円/月額利用料 12,000 円/定員 5 名

※別紙「本事業のサービス内容」に写真イメージ等を添付

②オフィス設備の共有

働く場として必要なオフィス設備を提供する。

Wifi、電源、複合機、プロジェクター、スクリーン等を常設し、コワーカークの快適な労働環境を提供する。また、革製品布製品に利用可能な業務用ミシンを設置する。

※別紙「本事業のサービス内容」に写真イメージ等を添付

③各種講座・イベント

3つの柱で開催する

- ・起業支援…起業に関して必要な知識や事業計画等の立案を支援。
- ・事業促進…新たな学びや、コワーカークの課題が解決できるような講座。
- ・コワーカーク同士の交流…コワーカーク同士の親睦が深まる楽しいイベント。

外部講師やコワーカークの専門知識や経験を活かし、講座を開設。

外部講師やコワーカークにとっても自らをアピールしたり、潜在的な顧客との接点ができ、事業を促進する可能性がある。起業支援や事業促進については、佐久市内の中小企業診断士や、各種専門性を持つ会員、長野県内のコワーキングスペース、本事業代表の江原が務める。また、コワーカーク同士の交流イベントについては運営メンバーの大越が

務める。(起業支援、事業促進のイベントについては本事業として行い、経費は講師料のみでほぼ完結する。コワーカーク同士の交流イベントについては本事業外)

※別紙「運営メンバーの経歴」に江原・大越の経歴を記載。

※別紙「本事業のサービス内容」にイベント実績を記載。

※別紙「今後展開予定のイベント」今後展開予定のイベント等を記載。

④本や経営ノウハウの共有

ビジネス書や、アイデア発想ツールなどのノウハウを共有し、コワーカークの事業の発展や、新たな発想に繋がりやすいツールやノウハウを共有する。

※別紙「本事業のサービス内容」に写真イメージ等を添付

⑤マッチングサービス

フリースペースにはコワーカークの紹介ボックスを設置。そこには、そのコワーカークの事が分かる情報や商品サンプルなどを展示し、他のコワーカークや訪問者との接点を作る。また、HP上でも同様な紹介を実施する。もちろん、本コワーキングスペースのスタッフが直接紹介しマッチングする場合もある。

※別紙「本事業のサービス内容」に写真イメージ等を添付

⑥その他付帯サービス

コワーカーク専用郵便受けやロッカーなどを設置。

(本事業実施後展開予定の発展的な事業内容)

本事業では、上記の様なスペースの開設や各種講座の実施など、コワーカークが集まり協働できる場を提供する事を目的とするが、その後は、コワーカークをより支援できる事業を展開していく予定である。現状考えている事業は以下の通り。

- ・バックオフィス支援…コワーカークの総務や経理など業務を支援
- ・起業支援…本事業よりもより本格的な支援。事業計画の立案後の後追いやクラウドファンディング等をつかった資金調達面も支援していく。
- ・プロジェクト支援…コワーカークが集まり対話をする、当然新たな事業の種が生まれる。複数人が組んでのプロジェクトとなるため、その立ち上げをコーディネートするのが非常に難しい。その支援ができるサービスを提供する。
- ・働くママ支援…上述した「ハナラボウンノ」で展開している事業をモデルに展開。などの展開を予定している。

バックオフィス支援・起業支援・プロジェクト支援については、本事業の代表の江原がメインに支援し、必要に応じて、佐久市内の中小企業診断士、税理士、社会保険労務士などの専門家と連携して支援する。経費については、労働集約的な事業のためほぼ増

えない。必要に応じて各種専門家へのアドバイス料などが発生するが、その費用は、バックオフィスや起業支援等の月額支援料やスポットの支援料で賄う。

働くママ支援については、上田市のコワーキングスペースの「ハナラボウンノ」が既
に実施している事業であるため連携し実施する。経費は、社会復帰を前提としている女
性の人件費や能力向上などの講座費用が主なものとなる。また収入としては、地元企業
からの仕事の受注、クラウドソーシングからの仕事の受注、また本事業の法人会員に名
乗りを上げてくれている佐久市内の人材派遣会社との連携で得る予定である。段階とし
て、バックオフィス支援・起業支援・プロジェクト支援での収益で働くママ支援の立ち
上げ資金とする予定である。

・女性や若者の就業、起業支援

先日、女性のためのRead for Action 読書会を実施。

※別紙「本事業のサービス内容」にイベント内容や写真を掲載。

現在子育て中の女性も含め多くの女性が集まり、女性の働き方について本を通して考
えを共有。それぞれ専門的な技術を有しているが、子育ての関係もありなかなかフルタ
イムで働けない実情がある。しかしながら、コマ切れの時間の活用をすれば働くことは
可能で、子育て中の女性にあった働き方ができれば、働くことが可能であることも分か
った。このような会を通して、働き方への視点を広げ、更には、コワーキングスペース
を活用し、その女性の働きやすい時間に専門的な技術を活かした講座を開催したり、施
術等を行えるサービスを提供する事で女性の就業や起業に寄与できると考える。

また、コワーキングスペースに集まるコワーカーはそれぞれの専門性を持ち独立して
仕事をしている。そういったコワーカーと出会い会話する事により、視点が広がり緩やか
な起業や、仕事を部分的に請け負うといった働き方も可能になる。そのために、多くの
コワーカーを集め、多くのコワーカーとの接点を増やすことは、就業や起業の幅を増や
すことへと繋がる。

計画書別紙③ 事業の効果・アピールポイント

(事業の効果)

数値目標

- | | |
|----------------|--------------------|
| ・会員コワーカー | 目標：平成29年3月末 30人 |
| ・若者・女性起業支援 | 目標：平成29年3月までに起業3名 |
| ・協働による新規事業 | 目標：平成29年3月末までに1件創出 |
| ・コワーカー向けイベント開催 | 目標：毎月3講座 or イベント |

以上を達成する事により、自ら考え社会へ発信していくコワーカーが集まる場が出来、
そこから新たな価値である事業創出が行われ、波及的に若者や女性の就業や起業につな
げる事が達成できると考えている。

(アピールポイント)

①不特定多数の市民が受益者となる公益的な事業か

本事業の理念(夢を実現したい、夢を持ちたい等)に賛同していただける方は、どのよ
うな方でも利用可能で不特定多数の市民に利用する事が可能。また、利用者の必要なも
のに投資をする予定であるため、公益的な事業であると言える。

②発想豊かで創意工夫に富んでいる事業か

県内のコワーキングスペース、例えば「事業目的の必要性」内で述べた通り上田市の
Hana. lab や長野市のクリークスなどの事業は創意工夫に富んでおり、クリエイティブ
な事業の発信地となっている。会員の強みを活かしたコラボレーションで発想力豊かで
かつ創意工夫をした事業として発展していく可能性は多く秘めている。

③波及効果や発展性が期待される事業か

佐久地域の会員同士の交流や事業への発展性については「事業目的の発展性」内で述べ
たとおりだが、その他にも、長野県内のコワーキングスペースと連携や、全国300以上
のコワーキングスペースとの連携も可能である。

例えば、既に上述したとおり長野県内のコワーキングスペースではクラウドファンディ
ング支援事業などの様々な起業等支援事業が行われている。そういった既存のコワーキ
ングスペースと連携し、佐久地域でも支援をすることが可能である。

また、佐久市は神戸・自由が丘と並び、日本三大ケーキの街として売り出しているが、
神戸や自由が丘にもコワーキングスペースが存在する。そういったネットワークを活用
し、日本三大ケーキ祭りなどの地域おこしイベントを開催する事も可能である。これは
まだアイデアレベルの話ではあるが、コワーキングスペースを設置する事により、この
様な連携に発展していく可能性は非常に高い。

④実現可能性が高く予算が妥当である事業か

・既に長野県内でコワーキングスペースを運営している長野市のクリークスや上田市のハナラボの代表者との繋がりもあり、運営に関するアドバイス等の指導をいけられる体制になっている。(消防法等の整備など関係法令等についても)

・本事業はSAKU 未来100人会議から出たアイデアが発展した結果であり、現在でもSAKU 未来100人会議との交流がありバックアップなどの支援を受けられる体制にある。

・2015年9月頃から積極的に潜在的コワーカー等のためのイベントを実施。2016年1月末までに延べ150名程度の参加があり、着実に潜在的な会員コワーカーや支援者の輪を広げている。3月より定期的に本事業の説明会を行い会員募集を募る。

以上の様に、既存のコワーキングスペースなど様々な機関からの支援を受けられる体制ができており、かつ、会員候補も相当数集まっているため、現実可能性が高いと言える。

⑤団体の自立促進が期待される事業か

会員同士の相互扶助で本事業の設備を完成させ、初期投資を圧縮し事業のリスクを下げる。また、2016年度全体予算書の様に固定費はそれほど高くないため、現在見込んである会員候補での収入で事業を継続できる。

本事業以外(次の展開、コワーキングスペースオープン後すぐに着手)にて、フリーランスや個人事業主、また事務局などのバックオフィス支援を実施する予定で、そちらの収益も計上できる予定なため、自立促進が期待できると思われる。